

平成23年度

お茶の水女子大学
特別入試学生募集要項

推 薦 入 試

帰国子女・外国学校
出身者特別入試



お茶の水女子大学
Ochanomizu University

〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号

☎ 03 (5978) 5151~2 (入試チーム)

HP <http://www.ao.ocha.ac.jp/>

目 次

○ 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	
1. お茶の水女子大学のアドミッション・ポリシー	1
2. 学部のアドミッション・ポリシー	1
○ 学 科 の 受 入 方 針	2
○ 推 薦 入 試 学 生 募 集 要 項	
1. 学部・学科別募集人員	10
2. 出願資格及び推薦の要件	10
3. 出願手続	11
(1) 出願上の注意	11
(2) 出願期間	11
(3) 出願方法	11
(4) 出願書類等	12
(5) 心身に障害等のある入学志願者の出願	12
4. 選抜方法	13
5. 合格発表等	15
6. 個人情報及び試験成績の利用について	15
7. 入学手続	15
8. 合格とならなかった場合の取扱い	15
9. 調査書の開示について	16
10. 推薦入試の過去問題	16
11. 大学案内の請求	17
12. 平成24年度推薦入試に関する変更の予告	17
○ 帰国子女・外国学校出身者特別入試学生募集要項	
1. 募集学部・学科及び募集人員	18
2. 出願資格	18
3. 出願手続	18
(1) 出願期間	18
(2) 出願方法	18
(3) 出願書類等	19
(4) 心身に障害等のある入学志願者の出願	19
4. 選抜方法	20
5. 合格発表等	21
6. 個人情報及び試験成績の利用について	21
7. 入学手続	21
8. 合格とならなかった場合の取扱い	21
9. 帰国子女・外国学校出身者特別入試の過去問題	22
10. 大学案内の請求	22
11. 平成24年度帰国子女・外国学校出身者特別入試に関する変更の予告	22
○ その他の案内	23

○ 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1 お茶の水女子大学のアドミッション・ポリシー

お茶の水女子大学は、学ぶ意欲のあるすべての女性の真摯な夢の実現の場であることを使命とし、幅広い教養と高度な専門性を身につけた女性リーダーの育成を目指しています。そのため不漸に教育改革を進め、文理融合リベラルアーツ教育の導入（平成20年度）に引き続き平成23年度からは複数プログラム選択型専門教育をスタートさせます。本学では、すべての女性が年齢・国籍などにかかわらず自立した女性として、生涯にわたって多様に活躍できるキャリア形成の場を提供しています。知的好奇心と探究心を抱き、勉学意欲に富んだ学生の入学を期待しています。

2 学部のアドミッション・ポリシー

文 教 育 学 部	<p>人間は、過去から現在に至るまで地球上のさまざまな地域で、言語をはじめとする文化や科学技術を創造し、政治、経済、教育などの諸社会組織を発展させてきました。人間と文化と社会を理解するためには、時間軸と空間軸の上に現代社会を位置づけ、マクロからミクロに至る多次元的なアプローチが必要です。文教育学部は、人間と文化と社会に迫る、人文・社会系の総合的な学部です。文教育学部は、人文科学科、言語文化学科、人間社会科学科、芸術・表現行動学科という多彩な学科を持ち、少人数教育によって、専門的に深く、また総合的に広く学ぶためのカリキュラムを準備しています。各学科には複数の専門コースと3つの学科（人文科学・言語文化・人間社会）にまたがるグローバル文化学環があります。</p> <p>高校での学習は、入試で合格するために必要なのではなく、その後の人生を「よく生きる」ためのものです。本学部志望者には、高校において文科系の科目はもちろん理数系の科目まで幅広く、同時にどん欲に深く学習することを望みます。多様な領域でのリーダーを目指し、意欲と能力と個性に富んだ皆さんが志望されることを期待します。</p>
理 学 部	<p>理学部とは、基礎科学の分野を研究対象として、主に自然界の原理や法則の追究を行うところです。本理学部は、数学、物理学、化学、生物学、情報科学の5学科からなり、少人数ゆえのきめ細かな指導により、高水準の教育・研究を行ってきており、数少ない女子大学の理学部として多くの有為な人材を養成してきました。最近ではさらに大学院に進む者も多く平均進学率は6割を超えています。</p> <p>このような教育・研究の場に知的好奇心溢れる女性を受け入れ、次世代のリーダーあるいは中核となる人材を育成し、社会に輩出することを目指しています。</p> <p>本学部志望者には、高校において、理系科目（数学、理科〔物理、化学、生物〕）を学び、論理的思考力を身につけるようにすること、および、自然科学の基礎知識を習得しておくことはもちろんのこと、文系科目（国語、社会、英語）も幅広く履修し、筋道の立った文章が書けることなどが望まれます。</p> <p>「推薦入試」、「帰国子女・外国学校出身者特別入試」においては、志望学科に係る各種コンテストなどで活躍した実績も評価します。</p>
生 活 科 学 部	<p>現代のわたしたちの日常生活は、日々、地球規模の変化と連関の中で営まれており、あらゆる場面で持続可能性が問われています。生活の質と作法を再検討し、現代にふさわしい価値と規準を発見し創出することは、まさに時代の要請だといえます。</p> <p>生活科学はこの要請に応えるために、食の科学と健康、人間と環境、人間の発達と心の健康、人間生活と社会、人間生活と文化に関する諸問題を、高度に専門分化した学知を結集して、生活者の視点から多面的かつ総合的に解明することを目指しています。</p> <p>生活科学部の特徴は、第1に、このような文理融合の総合応用科学としての生活科学を学ぶ点にあります。第2に、(1)高密度の講義、(2)少人数の実験・実習・演習、(3)個別的な卒業論文指導を軸とする少人数教育にあります。また特に家庭科の教員免許を取得しやすいカリキュラムになっていることも生活科学部の特徴の一つです。</p> <p>生活科学部は、人間と生活と環境を分析的かつ総合的に理解する技法を学び、専門的学知に裏打ちされた確かな教養と豊かな構想力を身につけ、将来、社会の多方面で活躍する女性リーダーを育成することを使命としています。</p> <p>高校での学習はすべての科目が、大学での勉学に必要な基礎です。志願学科の別を問わず、家庭科・芸術科目・保健体育も含め、オールラウンドの学力を身につけておくことを望みます。</p>

○ 学科の受入方針

文教育学部

【人文科学科】

人文科学科は、人類のさまざまな歩みのなかから、未来の英知につながるあらゆる現象を広く文化としてとらえる人間の知の総合学を志しています。深く幅広い知識を修得し、それらに立脚したオリジナルな問いを自ら見つけだし、必要な資料・データをねばり強く収集・整理したうえで、独自の論理を築きあげる力。勉学を続けていく場合でも、社会に出て活躍する場合でも必ず求められるこうした総合的な力を広く養成することが、本学科の目標です。

入学前には、さまざまな教科や科目について幅広く学ぶと同時に、自分の関心をもったテーマについて自主的に読書や調査を行うことを通じ、知的探求の面白さを経験してきていただきたいと思います。いわゆる「指示待ち」型ではなく、物事を多面的に考えられる柔軟な思考力を持ち、独創的な解に到達しようとする意欲のある学生の皆さんの入学を希望します。

人文科学科には、哲学・倫理学・美術史コース、比較歴史学コース、地理学コースの3つの専門コースがあり、学科共通進学コースとしてのグローバル文化学環を含め、入学後、自分がなにを学びたいのかを見極め、2年次からいずれかのコース・環に進学することになります。なお進学コース・環の選択は、他の選抜方式で入学した学生と同じ条件で行われます。

○推薦入試

第1次選考合格者に対し、第2次選考を行います。第2次選考では、自分が学びたいと考えている専門分野（哲学・倫理学・美術史、歴史学、地理学）についての基本的知識や考え方（問題意識）、意欲や資質などを見るため、小論文と面接（口述試験を含む。）を課し、総合的に可否を判断します。

（小論文）課題文や資料を読んだうえで、設問に沿って論述してもらいます。課題文・資料の内容を十分に把握し（読解力）、自分なりの論理を組み立て（論理展開力や独創性）、それを適切かつ表現豊かに論述できるか（表現力）、を評価の対象とします。

（面接）質疑を通して、将来の勉学の計画や自分の考えなどを明確にもち、かつそれを相手に的確に表現できるかといったコミュニケーション能力を見ます。

○帰国子女・外国学校出身者特別入試

第1次選考合格者に対し、第2次選考を行います。第2次選考では推薦入試の基準や判定に加え、外国における学校生活から学んだこと、及びそれを本学入学後どのように活かそうかと考えているのかが問われます。

【言語文化学科】

言語文化学科には、日本語・日本文学コース、中国語圏言語文化コース、英語圏言語文化コース、仏語圏言語文化コースの4つの専門コースがあります。対象となる言語はそれぞれ異なりますが、中国語やフランス語の場合にはその初歩から上級までの修得、日本語や英語の場合には当該言語のより深い理解を目指し、またそれぞれの言語で表現された作品の本格的な研究に取り組むこととなります。「ことば」というものの面白さに興味を持ち、そこに何かを発見したいと思っている皆さん、また洗練された語学力を身につけて広い世界へ足を踏み出そうと考える皆さん、また「文学・芸術」が好きで、ただ鑑賞するだけでなく「その先」へ進みたいと思っている皆さんを歓迎します。

○推薦入試

当学科の推薦入試では、日本語・日本文学コース、中国語圏言語文化コース、英語圏言語文化コース、仏語圏言語文化コースのいずれかでの学習と研究に特に強い興味と意欲を持ち、勉強したい専門分野のはっきりしている受験生を求めます。入学後は一般入試で入学した学生と同じ条件で、1年次末に最終的に進学する専門コースが決まります。

選考は書類による第1次選考と、小論文及び面接（口述試験を含む。）による第2次選考に分かれます。第2次選考の小論文では、それぞれの志望分野に相応しい読解力や表現力、論理の展開力、志望分野に対する関心や問題意識の高さなどを評価します。面接では、質疑を通して、自らの志向・個性などを相手に的確に伝えるコミュニケーション能力や自己表現力を見ます。

○帰国子女・外国学校出身者特別入試

当学科の帰国子女・外国学校出身者特別入試では、中国語圏言語文化コース、英語圏言語文化コース、仏語圏言語文化コースのいずれかでの学習と研究に特に強い興味と意欲を持ち、勉強したい専門分野のはっきりしている受験生を求めます。また、外国での学校生活から多くを学び、大学でその経験を生かした研究活動を進めることのできる皆さんの応募を期待しています。入学後は一般入試で入学した学生と同じ条件で、1年次末に最終的に進学する専門コースが決まります。

選考は書類による第1次選考と、小論文及び口述試験による第2次選考に分かれます。第2次選考の小論文では、それぞれの志望分野に相応しい読解力や表現力、論理の展開力、志望分野に対する関心や問題意識の高さなどを評価します。口述試験では、質疑を通して、自らの志向・個性などを相手に的確に伝えるコミュニケーション能力や自己表現力を見ます。

【人間社会科学科】

人間社会科学科では、人間について深い理解を持ち、その理解を現実的な場面で役立てていこうとする意欲ある人を求めます。当学科には、人間の意識や行動の社会的側面を考えたり（社会学コース）、心理的側面を考察したり（心理学コース）、人間の発達について多角的に考える（教育科学コース）という、3つの研究領域があります。

○推薦入試

当学科の推薦入試では、子どもや大人の学習・教育の勉強や、教育問題の研究に強い意欲をもち、将来、教育科学コースに進学して教育思想、教育史、教育社会学、文化人類学、教育方法学、教育課程論、教育開発論、教育行財政学、生涯学習論、博物館学といった、教育科学のさまざまな研究方法を通して、教育問題に迫り、そのうえで大学院に進んで教育科学の研究を深めたい、あるいは小学校の教員その他の教育関係の職に就きたいと考えている学生を期待します。高校では、さまざまな教科や科目について幅広く学んでください。特に、国語・英語（外国語）・数学は、大学での学習と研究にとってたいへん重要な基礎的能力を育成するのに役立つでしょう。このほか地歴・公民や理科の学習を通じて、人間について深く考える姿勢と能力を身につけた学生を歓迎します。推薦入試は、第1次選考を出願書類の審査によって行い、第2次選考では、教育科学に関する小論文と面接（口述試験を含む。）によって総合的に判断します。

○帰国子女・外国学校出身者特別入試

帰国子女・外国学校出身者特別入試においては、第1次書類選考合格者に対して、小論文及び口述試験を課します。これに関するポリシーは推薦入試（上記）と同様で、将来、教育科学コースに進学して教育問題にさまざまな研究方法から迫りたいと考えている学生を期待します。帰国子女・外国学校出身者特別入試の場合には、さらに、口述試験において外国における学校生活から何を学んだのか、及びそれを本学に入学後どのように活かそうと考えているのかが問われます。合格判定は、小論文と口述試験の内容を総合して判断します。

【芸術・表現行動学科】

本学科は、人間の芸術及び表現行動としてのパフォーマンスとその学問的研究との両方を、同時に追求しようとする貪欲な人を求めています。本学は小規模ながらも総合大学ですから、その特性を十分に利用して、「自ら」多様な可能性を切り開こうという積極的姿勢が要求されます。

○推薦入試

○舞踊教育学コース：本コースは、舞踊を中心にスポーツから日常動作にいたる人間の身体活動や表現について、理論と実践の両面から積極的に研究を進めることのできる人材を求めています。舞踊は高校で学ぶ全ての教科と関連していますので、幅広く学習を進めてください。その上で、保健体育、国語及び英語については特に重点的に学習し、基本的な運動能力、文章表現力、英文の読解力をきちんと身につけてきてください。なお、推薦入試は、本学のカリキュラム履修に必要な能力を有し、理論と実技のいずれかで特別に優れた能力を有する学生を募集するためのものです。

○音楽表現コース : 音楽は人間の感性に関わるとともに、高度に知的社会的な活動であり、人間の営みに深く根づいています。勉強も実技もきちんとやってみたい、そんな贅沢な悩みを抱えている人にこそ、本コースは開かれています。高校で学ぶ教科はすべて重要ですが、音楽は言うまでもなく、英語と世界史はしっかりと身につけてきてください。

推薦入試では、第1次書類選考合格者に対し、小論文・実技検査・面接(口述試験を含む。)を行います。

○帰国子女・外国学校出身者特別入試

○舞踊教育学コース : 本コースは、舞踊を中心にスポーツから日常動作にいたる人間の身体活動や表現について、理論と実践の両面から積極的に研究を進めることのできる、両者のバランスの取れた、エネルギー溢れる人材を求めています。

なお、帰国子女・外国学校出身者特別入試の場合には、さらに、外国における学校生活から学んだのか、および、それを本学に入学後どのように活かそうと考えているのかが問われます。

○音楽表現コース : 音楽は人間の感性に関わるとともに、高度に知的社会的な活動であり、人間の営みに深く根づいています。勉強も実技もきちんとやってみたい、そんな贅沢な悩みを抱えている人にこそ、本コースは開かれています。

帰国子女・外国学校出身者特別入試の場合には、第1次書類選考合格者に対し、小論文・実技試験・口述試験を行います。この基準に加え面接にて、外国での学校生活において体験・学んだことと自身の音楽との関わりなどに関しての質疑応答があります。合否判定は、出願書類と第2次選考の成績を総合して行います。

理 学 部

【数 学 科】

数学は、あらゆる現象の背後にある数や図形の永久に変わらない真理を追究する学問です。それを学ぶことで、魂を揺さぶる美しいものや実生活で役に立つものに出会い、また世界を見通すための厳格な論証法を身につけられると考えます。

このような観点から、数学科では主に以下のような目標を持った人を求めます。

- ・教師や研究者のように数学を職業としたい人
- ・数理的な素養を生かして社会を支える仕事につきたい人
- ・とにかく数学に対して意欲を持って勉強したい人

受験生に求めるのは以下のことです。

- ・高校での数学を十分に理解し、大学での講義に必要な数学の知識を身につけている。
- ・文章から数学的な意味を読み取ることができる。
- ・自分の考えを数学的、論理的な文章に表現して相手に伝えられる。

○推 薦 入 試

推薦入試では、書類選考のほか、面接(口述試験を含む。)を行います。面接ではあらかじめ数学的内容の質問事項をいくつか提示し、考えを整理してもらう時間を設けます。その上でそれらについてどのように考えたかなどいろいろなことを質問します。基本的なことがらを筋道正しくきちんと考えることができ、かつ説明できるかが試されます。合否の判定は提出された書類(高校での成績、志望理由書、推薦書など)と面接の結果を総合して行われます。

○帰国子女・外国学校出身者特別入試

帰国子女・外国学校出身者特別入試においては、第1次選考合格者に対して、口述試験を行います。口述試験のうち数学に関わるポリシーは推薦入試と同様です。帰国子女・外国学校出身者特別入試の場合には、さらに、外国における学校生活から何を学んだのか、及び本学入学後それをどのように活かそうと考えているのかを訊ねます。合格判定は、出願書類と口述試験を総合して行います。

【物 理 学 科】

自ら考えて問題を見つけ出し、自ら考えてこれを解決する学生を希望します。(もちろん、必要になれば教員の適切な助言および指導を受けることができます。)また、豊かな人間性ととともに、他人との協調性に優れた人格が望まれ、忍耐力も必要です。卒業後には物理学の勉学を通して培った、「物事の法則を発見しそれを応用する能力」を各方面で発揮し、社会において指導的役割を果たす女性となることを期待しています。しかしながら究極的には、「物理学を学んで生き生きと充実した人生を送ること」が最も大切と考えています。

○推 薦 入 試

推薦入試では、高等学校長作成の調査書・推薦書に加えて本人が記載する志望理由書の内容が、物理学科のアドミッション・ポリシーに合致するかどうかを重視しています。補足資料(自由研究レポート、実験ノート、それまで関心を持ち続けたテーマについて考えをまとめたノート等のコピー)の添付を認めているのも、自ら考えて問題を見つけ出し、自ら考えてこれを解決する学生を発見したいためです。

第1次選考合格者に対しては、2種類の面接(口述試験を含む。)を課しています。別室で解かせた計算問題に関する質疑応答から計算力と理解力を問う口述試験(20分間)と、様々な物理現象を直観的に説明させることから自由な発想力と直感力を問う口述試験(20分間)の2種類がこれにあたります。合否は出願書類と2種類の面接を総合して判定します。

○帰国子女・外国学校出身者特別入試

帰国子女・外国学校出身者特別入試では、第1次選考合格者に対して、2種類の口述試験を課しています。

これに関するポリシーは推薦入試と同様です。帰国子女・外国学校出身者特別入試の場合には、さらに外国における学校生活から何を学んだのか、及びそれを本学に入学後どのように活かそうと考えているのかを問います。合否は、出願書類と2種類の口述試験(各々20分間)を総合して判定します。

【化 学 科】

化学は、原子・分子をなかだちとして自然科学のあらゆる分野と密接に協力して発展するものであり、その領域は数学・物理学の理解が不可欠な分野から、さらに生物学や地球科学の知識の必須な分野まで広がっています。したがって、化学科の志願者は、高校では化学のほかこれら基礎となる科目、特に、物理・生物を幅広く履修して、論理的思考力や自然科学の基礎知識をしっかりと体得しておくことが望まれます。また、英語で書かれた文献を読みこなす語学力も要求されますので、高等学校での英語の十分な学習が必要です。入学後には、専門の学習や研究の基盤となる実験能力を養うため、学生実験を重視しています。

これらをふまえて、入学試験においては、総合的理解力をその評価基準とします。一般入試に対して特別入試では、口述試験を通して化学を含む自然科学における総合的理解力はもちろんのこと、論理的思考力・文章表現力に併せて創造性も評価します。

○推 薦 入 試

推薦入試では、第1次書類選考合格者に対し、面接(口述試験を含む。)を課しています。面接では、化学を中心に自然科学全般の知識と理解力、筋道を立てて考える論理的な思考力や、答えに至るまでの自分の考えを正しく表現する能力を問い、応用力や個性的な発想力も評価します。なお、最近の面接の内容に関しては、本学入試チームホームページ(入試過去問題, <http://www.ao.ocha.ac.jp/>)に紹介しています。合格判定は、出願書類と面接を総合して行います。

○帰国子女・外国学校出身者特別入試

第1次書類選考合格者に対し、口述試験を課しています。推薦入試の基準や判定に加え、外国における学校生活から学んだこと、及びそれを本学入学後どのように活かそうと考えているのかが問われます。なお、最近の口述試験の内容に関しては、本学入試チームホームページ(入試過去問題, <http://www.ao.ocha.ac.jp/>)に紹介しています。合格判定は、出願書類と口述試験を総合して行います。

【生 物 学 科】

生物学は、微生物からヒトまで、多種・多様な“生き物”の複雑で多様な生命現象を研究します。そのため、いろいろな視点から考える柔軟な思考力とそれを支える幅広い基礎知識が必要です。したがって、高校生時代を通して、理系、文系を問わず、教科科目を幅広く学び、論理的思考や知的好奇心をはぐくんでいることを希望します。また、“生き物”の複雑で多様な生命現象を観察し、“生き物”と忍耐強く対話し、自ら考え、自ら問題を見つけ、試行錯誤しながらこれを解決する意欲とパワーをもつ学生を希望します。

“生き物”に関する理解と関心を深め、人間社会により豊かな知の財産を築ける人に育つことを期待しています。

○推 薦 入 試

多様な領域を含む生物学を学ぶには、多彩な才能の持ち主を期待します。第1次選考合格者に対し、小論文と面接(口述試験を含む。)を課します。小論文では、生物学を中心とした科学の基礎知識、科学的文章の読解力、論理的表現力を判定します。面接では、面接担当教員との質疑応答を通して、自らの生物学の知識と考え方、社会に向き合う態度、将来への明確な展望、思考能力、個性や才能等、さらに、これらを面接担当教員に的確に伝える能力を重視します。合格判定は、出願書類と第2次選考の成績を総合して行います。

○帰国子女・外国学校出身者特別入試

推薦入試の基準や判定に加え、外国における学校生活から学んだこと、それを本学入学後にどう活かそうと考えているのかが重視されます。合格判定は、出願書類と第2次選考の成績を総合して行います。

【情報科学科】

情報科学はコンピュータの出現によってその存在と価値が確かめられた「情報」とよばれる概念を、エネルギーや物質と並ぶ世界の主要な構成要素として認識し、その生成、管理、利用に関する原理を探究する新しい学問分野です。今日、その応用は自然科学や工学のみならず、社会科学や人文科学にも及んでいます。この奥深さを理解し、これまでの成果を学びたい人、さらに今後の進展に積極的に貢献したい人にぜひ進歩してきてほしいと思います。情報科学は、これまでの数理科学や自然科学の考え方を偉大な先達として独自の的方法論を展開しようとしていることから、広くかつ深い理系のセンスが問われます。

情報科学を通じて21世紀の科学技術を支えるのは自分たち女性だと心底思っている人、あるいは思いたい人、あるいはそう言われて「そうなんだ」と今気づいた人を大歓迎します。

○推薦入試

推薦入試では、高等学校長作成の調査書・推薦書に加えて本人が記載する志望理由書の内容が、情報科学科のアドミッションポリシーに合致するかどうかを重視しています。また第1次選考合格者に対しては、2種類の面接(口述試験を含む。)を課しています。すなわち、別室で15分間考えた数学の問題に関する質疑応答から推論力とコミュニケーション能力を問う口述試験(15分間)と、その場で示された問題を黒板を使って説明させることから問題分析能力と解決能力および直観力を問う口述試験(15分間)の2種類です。出願書類とこの2種類の口述試験を総合的に評価して入学判定を行っています。なお、情報科学科に入学後の講義は高校における数学Ⅲの知識と外国語(特に英語)能力を仮定して行われます。ただし入学時にコンピュータを使えることは仮定しません。

○帰国子女・外国学校出身者特別入試

帰国子女・外国学校出身者特別入試においては、第1次選考合格者に対して、筆記試験および口述試験を課しています。筆記試験では、理系の基本的な能力を問うための数学の試験と、表現力および自分で考えながら論述する能力を問うための小論文を課しています。口述試験では、入学後の必修講義に対応できるだけの数学等の学力が備わっているかどうかを判断します。さらに帰国子女・外国学校出身者特別入試の場合には、外国における学校生活から何を学んだのか、およびそれを本学科に入学後どのように活かそうと考えているのかも問われます。入学判定は、出願書類を参考にしながら、筆記試験の合計点と口述試験の内容を総合して判断しています。なお、情報科学科に入学後の講義は高校程度の外国語(特に英語)能力を仮定して行われます。ただし入学時にコンピュータを使えることは仮定しません。

生活科学部

【食物栄養学科】

食物は人間が生きていくために必要であり、おいしい料理や豊かな食生活はわれわれの生活にうるおいと楽しさを与えます。一方で、偏った食事や不規則な食習慣はさまざまな疾患の原因となって、われわれの健康に影響を及ぼします。食物と人間および健康は時代を問わず、社会の人々から大きな関心もたれています。

本学科は、豊かな食生活や健康な社会の実現に向けて、食物と栄養に関する科学的視点と実践力を身につけた社会のリーダーとなる専門家の育成をめざしています。そのために、本学科では、食品化学、食品貯蔵学、調理科学、栄養化学、臨床栄養学、応用栄養学、栄養教育学、給食経営管理学、公衆栄養学などさまざまな学問分野において、遺伝子レベルから人間栄養学的なものまで幅広く教育研究を行っています。少人数教育による実験実習を重視し、卒業研究では、全員が食物栄養学科や生活環境教育研究センターの各研究室で、特定のテーマについて研究を行います。また、本学科を卒業すると、栄養士免許が取得できるのと同時に、管理栄養士の国家試験受験資格が得られます。

本学科の教育研究は自然科学を基盤とするため、高等学校において化学、生物、物理などの自然科学の基礎をしっかりと学習していることを望みます。具体的には、数学については数学Ⅰ・Ⅱ・A・Bを、理科については物理Ⅰ・Ⅱ、化学Ⅰ・Ⅱ、生物Ⅰ・Ⅱのうち2科目以上を履修しておくことを求めます。また、数学Ⅲ・Cについても履修していることを望みます。食物や栄養、健康に強い関心を持ちそれを社会に還元しようとする意欲のある人には最適な学科です。

○推薦入試

第1次選考では書類審査にて評価し、第2次選考では小論文及び面接(口述試験を含む。)により基礎学力や論理的思考、勉学に対する意欲を総合的に評価します。

○帰国子女・外国学校出身者特別入試

推薦入試の基準や判定に加え、外国における学校生活から学んだこと、それを本学入学後にどう活かそうと考えているのかが問われます。合格判定は、出願書類と第2次選考の成績を総合して行います。

【人間・環境科学科】

人間は、利便性、快適性、安全性などを追求し、身の回りの環境を常に変えて来ました。食糧は豊富になり、暮らしは便利になり、病気が減り寿命も延びました。しかしその反面、環境のあまりに大きく急速な変化に対して人間が適応できず、人類の存続にも影響する様々な問題も生じてきています。これに対して本学科では、「人間にとっての環境、環境にとっての人間」という視点に立ち、人間と環境の相互の働きかけを具体的に評価・設計・提案し、よりよい生活環境を創造するための研究と教育を行っています。

本学科の柱となる学問分野には、自然人類学、人体生理学、人間工学、福祉工学、環境機能材料学、環境化学、環境衛生工学、建築学などがあります。自然科学の好きな人、人間と環境にかかわる基礎的な科学を十分に学び、深く研究してみたい人、専門家として真に健康で豊かな生活を構築するために寄与したいと考えている人を、本学科は歓迎します。志望される方は、高等学校において理数系の基礎をしっかりと履修していることを望みます。具体的には、数学については数学Ⅰ・Ⅱ・A・Bを、理科については物理Ⅰ・Ⅱ、化学Ⅰ・Ⅱ、生物Ⅰ・Ⅱ、地学Ⅰ・Ⅱのうち2科目以上を履修しておくことを求めます。また、数学Ⅲ・Cについては履修していることを望みます。

○推薦入試

推薦入試では、人間・環境科学科の専門領域に具体的な問題意識と強い勉学意欲のある人、研究者としての資質をもつ人などが望まれます。第1次選考では書類審査、第2次選考では面接(口述試験を含む。)により論理的な考え方や基礎学力を評価します。

○帰国子女・外国学校出身者特別入試

推薦入試の基準や判定に加え、外国における学校生活から学んだこと、それを本学入学後にどう活かそうと考えているのかが問われます。合格判定は、出願書類と第2次選考の成績を総合して行います。

【人間生活学科】

人間の生活は、生涯にわたる人間の発達、生活を営むための人間社会のあり方、民族、歴史や伝統、文化などさまざまな面が相互に関連した、複雑で総合的な営みです。高度に複雑化した現代社会においては、この複雑な人間生活の営みを総合的に理解し、人間が生涯を通して生き生きと生活できるための条件や社会の仕組み、文化のあり方を明らかにし、それを実現する人材が求められています。

人間生活学科では、こうした豊かな人間生活の実現を担う人材の育成を、相互に関連する3つのアプローチによってめざしています。①人間の生涯発達にかかわる発達心理学・臨床心理学・保育学的理解と実践の連携、家庭や保育あるいは心理臨床などの現場に役立つ理解—発達臨床心理学講座、②地域社会から国際社会まで、多角的な社会環境を視野に入れ、家族、消費者、女性、高齢者、子ども、政策の問題など、生活と社会及びその関係についての社会科学的理解—生活社会科学講座、③人間にとって最も身近な服飾と住居、工芸、デザインを中心とする生活造形を対象とし、生活文化の歴史と現在について、美学的・比較文化的・民俗学的理解—生活文化学講座の3つです。こうした課題に関心があり、問題意識と研究意欲を持っている人、錯綜する現代の生活状況の中で、人間性を重視した社会を築くために貢献したいと考えている人、潤いのある生活を実現しようという熱意をもっている人には、ぜひ人間生活学科で学んでほしいと思います。

志望される方は、人間生活学科の3つのアプローチを踏まえ、高等学校において地理歴史・公民の諸科目など文科系の基礎を幅広く履修していることを望みます。

○推薦入試

選考は、書類による第1次選考と、その合格者に対する第2次選考の2段階で行います。第1次選考では、調査書、志望理由書、推薦書によって、基礎学力や専門領域への適性を評価します。第2次選考では、面接（口述試験を含む。）により、論理的思考力、自己表現力、志望領域に対する問題意識などを総合的に評価します。

○帰国子女・外国学校出身者特別入試

推薦入試の基準や判定に加え、外国における学校生活から学んだこと、それを本学入学後にどう活かそうと考えているのかが問われます。合格判定は、出願書類と第2次選考の成績を総合して行います。

○ 推 薦 入 試 学 生 募 集 要 項

1. 学部・学科別募集人員

学 部	学 科	募 集 人 員
文 教 育 学 部	人 文 科 学 科	入学定員のうち12名
	人 間 社 会 科 学 科	入学定員のうち16名
理 学 部	数 学 科	入学定員のうち4名
	物 理 学 科	入学定員のうち3名
生 活 科 学 部	化 学 科	入学定員のうち3名
	生 物 学 科	入学定員のうち4名
文 教 育 学 部	芸 術 ・ 表 現 行 動 学 科	入学定員のうち3名
	「舞踊教育学コース」	入学定員のうち3名
理 学 部	情 報 科 学 科	入学定員のうち7名
	食 物 栄 養 学 科	入学定員のうち5名
生 活 科 学 部	人 間 ・ 環 境 科 学 科	入学定員のうち3名
	人 間 生 活 学 科	入学定員のうち12名

2. 出願資格及び推薦の要件

文 教 育 学 部	平成22年度中に高等学校（中等教育学校を含む。）を卒業又は卒業見込みの女子で、高等学校長が、以下の要件に該当すると認め、責任をもって推薦できる者。	
	人 文 科 学 科	次の①又は②のいずれかに該当する者 ①調査書の学習成績概評がAの者 ②次のa～cのいずれかに該当する者 a 哲学、倫理学、美術史のいずれかの分野に対する強い関心を持ち、優れた能力を有する者 b 歴史学に対する強い関心を持ち、優れた能力を有する者 c 地理学に対する強い関心を持ち、優れた能力を有する者
	言 語 文 化 学 科	次の①と②の双方に該当する者 ①調査書の学習成績概評がA以上の者 ②将来の専門的研究への意欲的なビジョンを持ち、次のa～dのいずれかに該当する者 a 国語の成績がきわめて優秀で、日本語・日本文学の研究に強い意欲を有する者（日本語・日本文学コース） b 中国語または国語または英語の成績がきわめて優秀で、中国語・中国文学の研究に強い意欲を有する者（中国語圏言語文化コース） c 英語の成績がきわめて優秀で、英語・英文学の研究に強い意欲を有する者（英語圏言語文化コース） d フランス語または英語または国語の成績がきわめて優秀で、フランス語・フランス語圏の文化の研究に強い意欲を有する者（仏語圏言語文化コース） なお、出願に際しては、当学科の受入方針も参照すること。
	人 間 社 会 科 学 科	次の①と②の双方に該当する者 ①調査書の学習成績概評がA以上の者 ②教育科学（人間社会科学科の受入方針〔3ページ〕を参照）の勉学に強い意欲を有する者
	芸 術 ・ 表 現 行 動 学 科	次の①又は②のいずれかに該当する者 ①調査書の学習成績概評がAの者 ②「舞踊教育学コース」 舞踊又は体育において、特に優れた能力と意欲を有する者 「音楽表現コース」 音楽において、特に優れた能力と意欲を有する者

理 学 部	平成22年度中に高等学校（中等教育学校を含む。）を卒業又は卒業見込みの女子で、真理の探究に対し強い憧憬と意欲を抱き、かつ、高等学校長が次の①又は②のいずれかに該当すると認め、責任をもって推薦できる者 ① 調査書の学習成績概評が㊤の者 ② 志望学科に関連する科目において、特に優れた能力と意欲を有する者
生 活 科 学 部	平成22年度中に高等学校（中等教育学校を含む。）を卒業又は卒業見込みの女子で、真理の探究に対し強い憧憬と意欲を抱き、かつ、高等学校長が次の①又は②のいずれかに該当すると認め、責任をもって推薦できる者 ① 調査書の学習成績概評が㊤の者 ② 志望学科における各専門領域の勉学に強い意欲を有する者

(注) 推薦を行う者については、高等学校長のほか高等専門学校長及び高等部を置く盲・聾・養護学校長並びに文部科学大臣から高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定された在外教育施設の長を含む。

3. 出願手続

(1) 出願上の注意

- ① 国公立大学の推薦入試(大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて)は1つの大学・学部しか出願できない。
- ② 出願後の志望学部・学科等の変更は認めない。
- ③ 出願書類不備の場合は受理しない。また、一旦受理した書類は返却しない。

(2) 出願期間

平成22年11月1日(月)から11月5日(金)まで【必着】

ただし、11月4日(木)以前の発信局消印のある書留速達に限り、期限後に到着した場合でも受理する。

(3) 出願方法

出願書類を一括して、必ず本学所定の出願用封筒を用い、「書留速達」で下記あてに郵送すること。

[送付先] 〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
お茶の水女子大学 入試チーム

(4) 出願書類等

1	願書・写真票・受験票	本学所定の用紙
2	調査書	高等学校長が作成し、厳封したもの。
3	推薦書	本学所定の用紙に、高等学校長が作成し、厳封したもの。
4	志望理由書	本学所定の用紙 (注1) (注2) (注3) (注4)
5	実技関係調査書	文教育学部芸術・表現行動学科志願者のみ本学所定の用紙で提出すること。(注5)
6	検定料 (納入済票)	17,000円〔ゆうちょ銀行以外の金融機関で本学所定の振込依頼書により支払うこと。ご依頼人名義欄は、必ず受験生の氏名を記入すること。振込依頼書の納入済票(大学提出用)部分のみを切り離し、願書裏面の所定の位置に貼付すること。 ※ 1 第1次選考の不合格者に対しては、所定の手続きにより13,000円を返還する。 2 上記の1に該当する者は、平成23年2月25日までに請求すること。(請求書類は第1次選考結果通知書に同封する。) なお、上記1の場合以外は、いかなる理由があっても既納の検定料は返還しない。
7	受験票返送用封筒	本学所定の受験票返送用封筒に送付先を明記して、350円分(定形郵便80円+速達郵便270円)の切手を貼ること。
8	あて名シール2枚	合格通知等の送付に使用するので、確実に連絡が取れる住所を明記すること。

- (注1) 理学部の推薦入試志願者については、数学、理科、情報関係の各種コンテストなどに参加した経験がある場合には、それを示す書類や資料などのコピーを添付してもよい。
- (注2) 理学部物理学科の推薦入試志願者については、上記の「志望理由書」の補足資料(例えば、自由研究レポート、実験ノート、これまで関心を持ち続けたテーマについて考えをまとめたノート等)があれば、そのコピーを添付してもよい。
- (注3) 理学部生物学科の推薦入試志願者については、過去に研究発表会等で発表した実績がある場合には、その発表資料のコピーを添付してもよい。
- (注4) 生活科学部人間生活学科の推薦入試志願者については、上記の「志望理由書」に加え、何か個性的な活動をしていれば、補足資料(ボランティア活動、部活動、生徒会活動、自分で本を読んで考えたことなど)を添付してもよい。
- (注5) 芸術・表現行動学科舞踊教育学コースに出願する者は、健康診断書(本学所定の用紙)を添付してください。健康診断書の提出は、実技検査を安全に行うために健康状況を把握するためのもので、その内容は、試験の成績には一切影響しません。

(5) 心身に障害等のある入学志願者の出願

本学に入学を志望する者のうち、心身に障害あるいは疾病があり、受験上及び修学上、特別の措置を必要とする者(点字又は代筆による解答を希望する者を含む。)については、事前相談を行うので、原則として平成22年10月8日(金)までに本学入試チームに申し出てください。その際、「受験特別措置事前相談申請書」や「医師の診断書」等を提出していただく場合があります。

なお、措置の内容によっては、直ちに対応できない場合もありますのでご了承ください。また、特別措置を講じる必要がないまでも、修学上の不安等を感じる者も、同様の問い合わせをしてください。

4. 選 抜 方 法

選考は、次の第1次選考・第2次選考に分けて行う。

(1) 第 1 次 選 考

文 教 育 学 部 理 学 部 生 活 科 学 部	出願書類による書類選考を行い、平成22年11月17日（水）に、その合格者には「第1次選考合格通知書」を、合格とならなかった者には「第1次選考結果通知書」及び「検定料返還請求書」を郵送（速達）する。 また、同日正午に入試チームホームページにも第1次選考合格者の受験番号を掲載する。 入試チームホームページURL http://www.ao.ocha.ac.jp/
---------------------------------	--

(2) 第 2 次 選 考

文 教 育 学 部	人 文 科 学 科 言 語 文 化 学 科 人 間 社 会 科 学 科	第1次選考合格者に対し、志望学科による小論文を平成22年11月28日（日）に、面接（口述試験を含む）を11月29日（月）に行い、書類選考、小論文及び面接の結果を総合して合否を判定する。
	芸 術 ・ 表 現 行 動 学 科 舞 踊 教 育 学 コ ー ス 音 楽 表 現 コ ー ス	第1次選考合格者に対し、志望学科による小論文及び実技検査を平成22年11月28日（日）に、面接（口述試験を含む）を11月29日（月）に行い、本学の必修科目を受講するのに必要な能力を基準として、書類選考、小論文、面接及び実技検査の結果を総合して合否を判定する。
	理 学 部	第1次選考合格者に対し、志望学科による小論文（生物学科のみ）と面接（口述試験を含む）を平成22年11月28日（日）に行い、書類選考及び小論文・面接の結果を総合して合否を判定する。
	生 活 科 学 部	第1次選考合格者に対し、志望学科による小論文（食物栄養学科のみ）と面接（口述試験を含む）を平成22年11月28日（日）に行い、書類選考及び小論文・面接の結果を総合して合否を判定する。

(注) 第2次選考の日程の詳細については、「第1次選考合格通知書」に同封し通知する。
 各学部（学科）の小論文の試験時間については、帰国子女・外国学校出身者特別入試の第2次選考の表（20ページ）を参照すること。

実 技 検 査 (平成22年11月28日(日))

○ 芸術・表現行動学科「舞踊教育学コース」志望者に次の検査を行う。

1 必須課題

舞踊・スポーツに必要な身体支配能力を見るための基礎運動

2 選択課題

下記のア、イのいずれかを選択すること。

ア. 舞 踊 (下記の①と②を行う。)

① 既成作品：モダンダンス、バレエ、日本舞踊、民族舞踊や、マイム、新体操などの表現領域から作品を自由に選択し、1分以内に演じる。自作・他作どちらでも可。使用する音楽（カセットテープ又はMD(但しLPモードは不可)に録音のこと)を持参のこと。

② 創 作：課題は当日提示する。

イ. スポーツ (下記の①から③の全種目を行う。)

①バレーボール

②バスケットボール

③バドミントン

- ・実技検査に必要な服装、用具、靴（体育館シューズ及び各自選択課題に必要な靴）を持参のこと。
- ・「選択課題ア.舞踊」の試験場の床はリノリウムである。松脂の使用は不可。また、タップダンスなどで底の硬い靴を使用する場合は、こちらで用意した2m四方の板の上で行う。「選択課題イ.スポーツ」の試験場はフローリングである。
- ・「選択課題ア.舞踊」の試験場の高さは2m76cmと低いいため、新体操等での手具を投げる演技は不可。

○ 芸術・表現行動学科「音楽表現コース」志望者に次の検査を行う。

1 ソルフェージュ：以下のa及びb

a. 聴 音 (単旋律、及び2声体)

b. 新曲視唱

2 演奏実技：以下のaとb、及びc

a. 声 楽：イタリア古典歌曲（原語）の中から任意の1曲を演奏すること。

b. ピアノ：以下の①と②をこの順番で演奏すること。

①音階（ハノン39番に準拠。全調より当日抽選によって各自の課題調（長調とその平行調）を決定。長調は繰り返しなし、短調は和声的・旋律的音階を各1回演奏すること。）

②J. S. バッハの《インヴェンション》または《シンフォニア》から任意の1曲

c. 以下の①または②のいずれかを選択すること。

① 声 楽：日本歌曲、または、アリア（原語・原調）か外国歌曲（原語）の中から任意の1曲を演奏すること。

② ピアノ：ベートーヴェンのピアノソナタの中から任意の1曲の第一楽章を演奏すること。

- ・演奏実技は、すべて暗譜で行うこと。
- ・声楽の演奏実技（a、及び、c①）について：受験者は必ず伴奏用楽譜を提出すること。
- ・楽譜には氏名を明記し、出願書類と共に送付すること。なお、伴奏用楽譜は返却しない。

5. 合格発表等

(1) 合格者の発表

平成22年12月9日(木) 正午

本学南門掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には「合格通知書」及び「入学手続関係書類」を、合格とならなかった者には「結果通知書」を郵送(速達)する。

また、本学入試チームホームページにも合格者の受験番号を掲載する。
電話等による合否の問い合わせには一切応じない。

入試チームホームページURL <http://www.ao.ocha.ac.jp/>

- (2) 合格者は、本学及び他の国公立大学(独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。公立大学協会ホームページ(<http://www.kodaikyo.org/nyushi/>)参照)を受験することはできない。
- (3) 国公立大学の一般入試における合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限って、推薦入試の合格及び入学手続き等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達される。

6. 個人情報及び試験成績の利用について

- (1) 大学が取得した氏名、生年月日、住所、成績及び学修状況等の個人情報は、入学後の教務関係(学籍、修学指導等)、学生支援関係(学生証の発行、健康管理、授業料免除、奨学金の選考等)及び授業料等に関する業務を行うために必要な範囲内で利用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試の改善や志願動向の調査・分析及びこれらに付随する業務を行うために必要な範囲内で利用します。

7. 入学手続

- (1) 合格者に送付される「入学手続関係書類」により手続を行うこと。
- ① 入 学 料 282,000円 (予定額)
 - ② 授 業 料 前期分 267,900円(年額 535,800円) (予定額)
(入学時及び在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用される。また、前期分の授業料を下記入学手続期間中に納付しない場合は、4月1日から30日までの間に納入することになる。)
 - ③ 入学手続期間 平成22年12月10日(金)～12月16日(木)に郵送により行う。
- (注) 1 入学手続が受付期間内に完了しない場合は、入学を辞退したものと取り扱う。
2 入学料及び授業料の免除については、23ページの「2. 入学料免除と授業料免除」を参照のこと。
3 授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができます。
- (2) 合格者が極めて特殊な事情により入学を辞退する場合は、平成23年1月31日(月)までに、その理由を付した本学学長あての「推薦入試辞退願」(様式任意)を推薦を受けた学校長の連署を得て、入試チームに提出すること。
入学辞退が許可されない場合には、本学及び他の国公立大学(独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。)を受験しても入学許可は得られないので注意すること。

8. 合格とならなかった場合の取扱い

合格とならなかった者で、一般志願者として国公立大学(独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。)を受験しようとする者は、前期日程の大学・学部から1つ、後期日程の大学・学部から1つの合計2つの大学・学部に出願することができる。

出願にあたっては、各大学・学部等により大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等が異なる場合があるので特に注意すること。

本学に出願する場合は、別途「平成23年度お茶の水女子大学学生募集要項」(9月下旬から配布予定)により、出願書類を入試チーム宛に郵送すること。

一般入試出願期間 平成23年1月24日(月)から2月2日(水)まで

[送付先] 〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
お茶の水女子大学 入試チーム

9. 調査書の開示について

本学の平成23年度推薦入試の出願書類として提出された調査書の開示を下記のとおり行います。

1 開示内容

調査書の「指導上参考となる諸事項」、「総合的な学習の時間の内容・評価」及び「備考」を除き開示します。

2 申請者

受験者本人に限ります。（代理人による申請は認めません。）

3 申請方法

①窓口受付

本学受験票、印鑑及び返信用封筒（本人の郵便番号、住所、氏名を明記の上、500円分（普通郵便80円＋留料金420円）の切手を貼った長形3号（12.0cm×23.5cm）を持参の上、備付の申請用紙に必要事項を記入し、申請してください。

②郵送受付

入学試験成績開示申請書、本学受験票及び返信用封筒（本人の郵便番号、住所、氏名を明記の上、500円分（普通郵便80円＋書留料金420円）切手を貼った長形3号（12.0cm×23.5cm）を同封の上、本学入試チーム宛郵送してください。

なお、申請書は本学入試チームホームページからダウンロードすることができます。

4 申請期間

平成23年5月2日（月）～6月30日（木）

5 開示方法

平成23年7月末までに受験者本人へ書留郵便で送付します。

（注） 本学入学試験受験票を提示できない場合は、開示いたしませんのでご注意ください。

10. 推薦入試の過去問題

小論文過去問題、及び理学部化学科口述試験の内容については、入試チームホームページに掲載してあります。

入試チームホームページURL <http://www.ao.ocha.ac.jp/>

1 1. 大学案内の請求

各学部・学科の紹介等は、「お茶の水女子大学大学案内」に記載されています。
テレメールで請求できます。インターネット(携帯電話・パソコン)<http://telemail.jp>からか、電話(050-8601-0101)にアクセスしてください。そこで、「大学案内」の資料請求番号「562372」をプッシュまたは入力し、あとはガイダンスに従って登録してください。

また、入試チームホームページ (<http://www.ao.ocha.ac.jp/>)からも請求できます。

なお、テレメールでの請求に関しては、テレメールカスタマーセンター
(電話050-8601-0102) (9:30~18:00)にお問合せください。



1 2. 平成24年度推薦入試に関する変更の予告

特に変更の予定はなし。

○ 帰国子女・外国学校出身者特別入試学生募集要項

1. 募集学部・学科及び募集人員

学 部	学 科	募 集 人 員
文 教 育 学 部	人 文 科 学 科 言 語 文 化 学 科 人 間 社 会 学 科 芸 術 ・ 表 現 行 動 学 科 「舞踊教育学コース」 「音楽表現コース」	} 入学定員のうち若干名
理 学 部	数 学 科 物 理 学 科 化 学 科 生 物 学 科 情 報 学 科	} 入学定員のうち若干名
生 活 学 部	食 物 栄 養 学 科 人 間 ・ 環 境 学 科 人 間 生 活 学 科	} 入学定員のうち若干名

2. 出 願 資 格

日本国籍を有する女子及び日本国の永住許可を得ている女子で、保護者の海外勤務などの事情により、次のいずれかに該当する者。

ア 外国の正規の教育制度に基づく教育機関において、12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を平成21年4月1日から平成23年3月31日までに卒業（修了）した者または卒業（修了）見込みのもので、外国において最終学年を含め2年以上（2学年相当修了も含む）継続して学校教育を受けている者。

イ 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で、平成23年3月31日までに満18歳に達する者

ウ 外国において、ドイツ連邦共和国の各州で大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で、平成23年3月31日までに満18歳に達する者

エ 外国において、フランス共和国の大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で、平成23年3月31日までに満18歳に達する者

(注) 外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校（文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有していると認定した在外教育施設）に在学した期間については、外国において学校教育を受けたものとはみなさない。

3. 出 願 手 続

(1) 出 願 期 間

平成22年11月1日（月）から11月5日（金）まで【必着】

ただし、11月4日（木）以前の発信局消印のある書留速達に限り、期限後に到着した場合でも受理する。

(2) 出 願 方 法

出願書類を一括して、必ず本学所定の出願用封筒を用い、「書留速達」で下記あてに郵送すること。

〔送 付 先〕 〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
お茶の水女子大学 入試チーム

(注) 大学からの連絡、受験票の送付、第1次選考、第2次選考の結果通知等は、すべて願書の「日本国内の連絡先」欄に記載の住所・氏名あてに行う。

(3) 出 願 書 類 等

1	願書・写真票・受験票	本 学 所 定 の 用 紙
2	身 上 記 録 書	本 学 所 定 の 用 紙
3	最終出身校卒業（修了） 証明書又は卒業（修了） 見込証明書	高等学校（日本の高等学校に相当する課程をいう。（以下「高等学校」という。）） 長の作成したもの。バカロレア・アビトゥア資格を有する者は、その証書の写 しを同封すること。
4	成績証明書又は調査書	高等学校長が作成し厳封したもの。 ただし、成績証明書記載事項のうち科目名、成績評価等が符号または略字によ り表示されている場合には、必ずその説明を付すること。
5	在 籍 証 明 書	在籍した外国の学校のそれぞれの学校長が作成したもの。
6	志 望 理 由 書	本学所定の用紙（注1）（注2）（注3）
7	実 技 関 係 調 査 書	文教育学部芸術・表現行動学科志願者のみ本学所定の用紙で提出すること。（注4）
8	検 定 料 （ 納 入 済 票 ）	17,000円〔ゆうちょ銀行以外の金融機関で本学所定の振込依頼書により支払う こと。ご依頼人名義欄は、必ず受験生の氏名を記入すること。振込依頼書の納入 済票（大学提出用）部分のみを切り離し、願書裏面の所定の位置に貼付するこ と。国外から出願する場合は、日本の通貨（円）に換金してから振込むこと。〕 ※ 1 第1次選考の不合格者に対しては、所定の手続きにより13,000円を返 還する。 2 上記の1に該当する者は、平成23年2月25日までに請求すること。 （請求書類は第1次選考結果通知書に同封する。） なお、上記1の場合以外は、いかなる理由があっても既納の検定料は 返還しない。
9	受 験 票 返 送 用 封 筒	本学所定の受験票返送用封筒に「日本国内の連絡先」を明記し、350円分（定 形郵便80円＋速達郵便270円）の切手を貼ること。
10	あ て 名 シ ー ル 2 枚	合格通知等に使用するので、本学所定の用紙に「日本国内の連絡先」の住所・ 氏名・郵便番号を明記すること。

- （注1） 理学部の志願者については、数学、理科、情報関係の各種コンテストなどに参加した経験がある場
合には、それを示す書類や資料などのコピーを添付してもよい。
- （注2） 理学部物理学科の志願者については、上記の「志望理由書」の補足資料（例えば、自由研究レポー
ト、実験ノート、これまで関心を持ち続けたテーマについて考えをまとめたノート等）があれば、そ
のコピーを添付してもよい。
- （注3） 理学部生物学科の志願者については、過去に研究発表会等で発表した実績がある場合には、その発
表資料のコピーを添付してもよい。
- （注4） 芸術・表現行動学科舞踊教育学コースに出願する者は、健康診断書（本学所定の用紙）を添付して
ください。健康診断書の提出は、実技検査を安全に行うために健康状況を把握するためのもので、そ
の内容は、試験の成績には一切影響しません。
- （注5） 出願書類に記載事項の記入もれ、その他不備の場合は、出願書類を受理しない。また、一旦受理し
た出願書類の記載事項の変更、返却は認めない。
- （注6） 出願書類のうち日本語以外の言語で書かれた証明書等については、その日本語訳を添付すること。

(4) 心身に障害等のある入学志願者の出願

本学に入学を志望する者のうち、心身に障害あるいは疾病があり、受験上及び修学上、特別の措置を必要と
する者（点字又は代筆による解答を希望する者を含む）については、事前相談を行うので、原則として平成22年
10月8日（金）までに本学入試チームに申し出てください。その際、「受験特別措置事前相談申請書」や「医
師の診断書」等を提出していただく場合があります。

なお、措置の内容によっては、直ちに対応できない場合もありますのでご了承ください。また、特別措置を
講じる必要がないまでも、修学上の不安等を感じる者も、同様の問い合わせをしてください。

4. 選 抜 方 法

入学者の選抜は、次の第1次選考、第2次選考に分けて行う。

(1) 第 1 次 選 考

文教育学部 理学部 生活科学部	<p>出願書類による書類選考を行い、平成22年11月17日（水）に、その合格者には「第1次選考合格通知書」を、合格とならなかった者には「第1次選考結果通知書」及び「検定料返還請求書」を郵送（速達）する。</p> <p>また、同日正午に入試チームホームページにも第1次選考合格者の受験番号を掲載する。</p> <p style="text-align: center;">入試チームホームページURL http://www.ao.ocha.ac.jp/</p>
-----------------------	---

(2) 第 2 次 選 考： 第1次選考合格者に対し、次の試験等を行う。（試験場：お茶の水女子大学）

学部	学 科	平成22年11月28日(日)		平成22年11月29日(月)	
		教 科 等	時 間	教 科 等	時 間
文教育学部	人 文 学 科	小 論 文	10:30~12:00	口 述 試 験	10:00~(予定)
	言 語 文 化 学 科				
	人 間 社 会 学 科				
	芸術・表現行動学科 舞踊教育学コース 音楽表現コース	小 論 文	10:30~12:00		
		実 技 **	13:00~		
理学部	数 学 科		13:00~(予定)		
	物 理 学 科	口 述 試 験	10:00~(予定)		
	化 学 科		10:00~(予定)		
	生 物 学 科	小 論 文	10:15~11:30		
		口 述 試 験	13:00~		
	情 報 学 科	数 学*	9:30~10:40		
		小 論 文	11:00~12:00		
口 述 試 験		13:00~			
生活科学部	食 物 栄 養 学 科	小 論 文	10:00~10:30		
		口 述 試 験	11:00~		
	人 間 ・ 環 境 学 科	口 述 試 験	10:00~		
		人 間 生 活 学 科	口 述 試 験	10:00~	

*「数学の内容」
数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ
数A（平面図形、集合と論理、場合の数と確率）
数B（数列、ベクトル）
数C（行列とその応用、式と曲線）

**実技検査はP14を参照。

(注) 第2次選考の日程については、「第1次選考合格通知書」に同封し通知する。

5. 合格発表等

(1) 合格者の発表

平成22年12月9日(木) 正午

本学南門掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には「合格通知書」及び「入学手続関係書類」を、合格とならなかった者には「結果通知書」を郵送(速達)する。
また、本学入試チームホームページにも合格者の受験番号を掲載する。
電話等による合否の問い合わせには一切応じない。

入試チームホームページURL <http://www.ao.ocha.ac.jp/>

6. 個人情報及び試験成績の利用について

- (1) 大学が取得した氏名、生年月日、住所、成績及び学修状況等の個人情報は、入学後の教務関係(学籍、修学指導等)、学生支援関係(学生証の発行、健康管理、授業料免除、奨学金の選考等)及び授業料等に関する業務を行うために必要な範囲内で利用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試の改善や志願動向の調査・分析及びこれらに付随する業務を行うために必要な範囲内で利用します。

7. 入学手続

- (1) 合格者に送付される「入学手続関係書類」により手続を行うこと。
 - ① 入 学 料 282,000円 (予定額)
 - ② 授 業 料 前期分 267,900円(年額 535,800円) (予定額)
(入学時及び在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用される。また、前期分の授業料を下記入学手続期間中に納付しない場合は、4月1日から30日までの間に納入することになる。)
 - ③ 入学手続期間 平成22年12月10日(金)～12月16日(木)に郵送により行う。
- (注) 1 入学手続が受付期間内に完了しない場合は、入学を辞退したものと取り扱う。
2 入学料及び授業料の免除については、23ページの「2. 入学料免除と授業料免除」を参照のこと。
3 授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができません。
- (2) 本学に入学手続を完了した者は、取り消して他の国公立大学(独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。公立大学協会ホームページ(<http://www.kodaikyo.org/nyushi/>)参照)を受験することはできない。
- (3) 合格者が特殊な事情により入学を辞退する場合は、平成23年1月31日(月)までに、その理由を付した本学学長あての「入学辞退願」(様式任意)を入試チームに提出すること。

[送付先] 〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
お茶の水女子大学 入試チーム

8. 合格とならなかった場合の取扱い

合格とならなかった者で、一般志願者として国公立大学(独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。)を受験しようとする者は、前期日程の大学・学部から1つ、後期日程の大学・学部から1つの合計2つの大学・学部に出願することができる。

出願にあたっては、各大学・学部等により大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等が異なる場合があるので特に注意すること。

本学に出願する場合は、別途「平成23年度お茶の水女子大学学生募集要項」(9月下旬から配布予定)により、出願書類を入試チームに郵送すること。

一般入試出願期間 平成23年1月24日(月)から2月2日(水)まで

9. 帰国子女・外国学校出身者特別入試試験の過去問題

過去問題は本学入試チームホームページに掲載していますので、参考にしてください。

10. 大学案内の請求

各学部・学科の紹介等は、「お茶の水女子大学大学案内」に記載されています。
テレメールで請求できます。インターネット(携帯電話・パソコン)<http://telemail.jp>からか、電話(050-8601-0101)にアクセスしてください。そこで、「大学案内」の資料請求番号「562372」をプッシュまたは入力し、あとはガイダンスに従って登録してください。

また、入試チームホームページ (<http://www.ao.ocha.ac.jp/>)からも請求できます。

なお、テレメールでの請求に関しては、テレメールカスタマーセンター
(電話050-8601-0102) (9:30~18:00)にお問合せください。



11. 平成24年度帰国子女・外国学校出身者特別入試に関する変更の予告

特に変更の予定はなし。

○ その他の案内

奨学金、入学科免除、授業料免除、学生宿舎等

1. 奨学金 (本学HPトップ→入試情報→「奨学金」からも情報が見られます)

人物・学業ともに優秀でかつ健康であって経済的理由により著しく修学に困難があると認められる者には選考の上、日本学生支援機構から奨学金が貸与されます。現在、第一種奨学金(無利子)、第二種奨学金(有利子)の2種類があります。新たに貸与を希望する者は4月中に募集の掲示を行いますので学生支援チーム (Tel.03-5978-5148)に照会してください。

外国人留学生の奨学金については、国際交流チーム (Tel.03-5978-5143)に照会してください。

他に本学に設置された保育所を利用する学生に保育料の一部を援助する育児支援奨学金があります。これらを希望する者は、学生支援チームに照会してください。

2. 入学科免除と授業料免除 (本学HPトップ→入試情報→「入学科・授業料の免除」からも情報が見られます)

注意事項 入学科及び授業料を納付済の者は免除・猶予の対象となりません。

1) 入学科免除の制度と申請資格について

①入学科免除の対象者

経済的理由により、入学科の納付が著しく困難であり、かつ、学業優秀と認められる者。または、次のa、bに該当する特別な事情により納付が著しく困難であると認められる者。

a 入学前1年以内において、本人の学資を主として負担している者(以下「学資負担者」という。)が死亡し、または本人若しくは学資負担者が風水害等の災難を受けたことにより、入学科の納付が著しく困難であると認められる者

b aに準ずる場合であって、相当の事由があると認められる者

②免除額について

入学科の免除が必要と認められた者については、納付すべき授業料の全額または半額を免除します。不許可となる場合もあります。

③申請時期

一般入試前期日程合格者の入学手続き期間内(3月中旬)に所定の申請を行った者について選考をします。また、入学科徴収猶予(延納)の制度もあります。猶予については3)を参照してください。

2) 授業料免除の制度と申請資格について

①授業料免除の対象者

経済的理由により、授業料の納付が著しく困難であり、かつ、学業優秀と認められる者。

②免除額について

授業料の免除が必要と認められた者については、納付すべき授業料の全額または半額を免除します。不許可となる場合もあります。

③申請時期

免除は年度を2期に分け半期分ごとに選考をします。(申請時期は3月と9月)

3) 入学科及び授業料の徴収猶予と申請資格について

①徴収猶予の対象者

経済的理由により、入学科または授業料の納付が著しく困難であり、かつ、学業優秀と認められる者。または、次のa、bに該当する特別な事情により納付が著しく困難であると認められる者。

a 本学学生またはその学資負担者が災害を受け、納付困難と認められる場合

b その他やむを得ない事情があると認められる場合

②猶予期間について

入学科または授業料の徴収猶予が必要と認められた者については、9月30日まで猶予されます。(30日が土、日祝日の場合は、その前の平日までとなります。)

③申請時期

入学科徴収猶予 一般入試前期日程合格者の入学手続き期間内(3月中旬)

授業料徴収猶予 3月1日～4月10日(4月10日が土、日祝日の場合は直前の平日まで)

3. **学生宿舎** (本学HPトップ→入試情報→「学生宿舎」からも情報が見られます)

本学には、来年度完成予定の新寮を含めて学部生の入居できる2つの学生宿舎がありますが、入居希望者が多数の場合は選考を行いますので、ご了承ください。本学ホームページには国際学生宿舎の写真付き案内がありますのでそちらもご覧ください。

名称	所在地	定員	居室	寮費	対象学生	入寮資格	選考方法
国際学生宿舎	板橋区仲町	399人	個室	寄宿料4,700円 その他合計約12,000円	学部生 留学生	実家より通学に2時間以上かかること (航空機及び新幹線等は使用しないで考える)	家庭の経済状況 (収入証明書等の提出が必要です)
新寮(仮称) 2011年3月 完成予定	文京区大塚	50人	個室 (ユニット)	30,000円(予定) 他、光熱水費等負担	学部 1,2年生 (留学生含む)		

*学生寮では食事の提供は行っておりません

4. **入学料・授業料免除と学生宿舎の申請手続きについて**

(1) 申請書の入手方法について

以下のいずれかの方法により、申請書類を入手してください。

1. お茶の水女子大学ホームページからダウンロードする。(推奨)
免除及び宿舎関係申請書類については、2月上旬に掲載予定です。

2. 合格発表後に郵送する「入学試験合格者への連絡事項」の巻末にある別紙「入学料免除(授業料免除)等関係書類請求書」に所要事項を記載し、次に該当する切手を貼った返信用封筒(角形2号 24.0cm×33.2cm)を同封のうえ、請求する。

1種類の請求 200円切手

2種類以上の請求 240円切手

請求する封筒左下に「〇〇関係書類請求」と朱書きしてください。

申請書類請求期間 平成23年2月1日(火)～平成23年2月28日(月)

※ダウンロードは3月中にも対応しています。(ただし申請の期限の日まで)

(2) 問い合わせ先及び請求先

お茶の水女子大学学生支援チーム 入学料・授業料免除・学生宿舎担当 TEL03-5978-2646
メールアドレス gakusei@cc.ocha.ac.jp

5. **下宿・貸間の紹介**

大学周辺の貸間代は、一畳当たり約7千円から1万円見当ですが、アパート形式が多く下宿(食事付き)はほとんどありません。

大学周辺の貸間等の情報については、いつでも学生支援チームで資料を閲覧することができますが、物件数等は必ずしも十分とはいえませんので、親戚知人等の安心できる住居を確保するよう心掛けてください。

また、本学の生協も民間の業者と提携して、学生向けの物件の紹介を行っています。(優遇あり)。

7. 交通案内

最寄り駅等 { 地下鉄 丸ノ内線 茗荷谷駅 から徒歩 約7分
 地下鉄 有楽町線 護国寺駅 (5番口) から徒歩 約8分
 都営バス 大塚2丁目停留所前

◎ J R 池袋駅から

地下鉄利用の場合

丸ノ内線・池袋駅〔新宿、荻窪方面行〕 ――― 約5分 ―――→ 茗荷谷駅 下車
 有楽町線・池袋駅〔新木場方面行〕 ――― 約4分 ―――→ 護国寺駅 下車

都営バス利用の場合

池袋駅東口 乗車〔東京ドームシティ行〕 ――― 約20分 ―――→ 大塚2丁目停留所下車
 (都02乙番)

◎ J R 大塚駅から

都営バス利用の場合

大塚駅南口 乗車〔錦糸町駅前行〕 ――― 約10分 ―――→ 大塚2丁目停留所下車
 (都02番)

◎ J R 東京駅又はJ R 御茶ノ水駅から

地下鉄利用の場合

丸ノ内線・東京駅〔池袋行〕 ― 約5分 ― 御茶ノ水駅 ― 約6分 ―→ 茗荷谷駅下車

